

再 評 価 書

事業名	森林整備（林道開設）事業	事業区分	県営林道経ヶ峰線	室名	森林保全室																						
事業概要	工期	平成6年～20年(15年間)	全体事業費	3,520百万円(負担率:国50、県50) ただし芸濃町内は県32.5、町17.5																							
事業目的及び内容																											
<p>(1)所在地 美里村大字北長野の国道163号の長野峠付近を起点として、経ヶ峰から西に延びる稜線の中腹部を通過し、経ヶ峰頂上まで進み、その後、笹子川沿いを北上し、芸濃町河内地内錫杖湖畔の県道津芸濃大山田線を終点とします。</p> <p>(2)事業の目的 林業生産性の向上を図ることによって、林業生産活動を活性化させ、森林資源を有効活用するとともに、津市などの人口の集中する都市部からほど近い経ヶ峰の山腹に広がる森林の適正管理を促進し、公益的機能の維持増進を図る。 併せて、眺望がよく憩いの場として利用されている経ヶ峰と、キャンプ場やレクリエーション施設が集まり多くの観光客が訪れる錫杖湖畔を連絡するアクセスルートとして、また、美里村大字平木地区と芸濃町河内地区を結ぶ地域住民の生活基盤として、地域の活性化を図る。</p> <p>(3)全体計画 全体延長 : 15,100m(うち終点から2,220mは既設林道を改築利用) 幅員 : 5m 全体事業費 : 3,519,500千円(233千円/m) 事業期間 : 平成6年度～平成20年度(15年間)</p> <p>(4)利用区域の森林資源の状況 当該路線の利用区域面積は1,110ha、国有林を除いた民有林面積は921ha、民有林のうちスギ・ヒノキ人工林は780haで、人工林の87%が16～50年生の間伐対象の森林です。</p>																											
事業主体の再評価結果																											
1 再評価を行った理由																											
再評価実施後5年を経過して継続中の事業であることから、三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。																											
2 事業の進捗状況と今後の見込み																											
<p>(1)課題 平成15年度末の進捗状況は延長で35%、事業費で37%で、事業計画期間内での完成は困難で、事業完了は平成30年度になる見通しです。</p> <p>(2)変更計画 全体延長 : 15,100m 全幅員 : 5m 全体事業費 : 3,519,500千円(233千円/m) 事業予定期間 : 平成6年度～平成30年度(25年間)</p> <p>(3)変更計画に対する進捗状況</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>開設延長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>進捗率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>進捗率</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開設単価</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成10年度末</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2,780m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>649,280千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>233千円</td> <td></td> </tr> </table>						開設延長		進捗率		事業費		進捗率		開設単価		平成10年度末		2,780m		18.4%		649,280千円		18.5%		233千円	
開設延長																											
進捗率																											
事業費																											
進捗率																											
開設単価																											
平成10年度末																											
2,780m																											
18.4%																											
649,280千円																											
18.5%																											
233千円																											

平成15年度末
5,257m
34.8%
1,311,280千円
37.3%
249千円

11～15年度
2,477m
16.4%
662,000千円
18.8%
267千円

残計画
9,843m
65.2%
2,208,220千円
62.7%
224千円

(4) 利用区域内の森林整備の状況

整備面積
うち間伐

H11～15実績
176.5ha
162.6ha

H16～20計画
140.6ha
131.2ha

計
317.1ha
293.8ha

3 事業を巡る社会経済状況等の変化

(1) 関連集落の変化

起点側美里村平木地区、終点側芸濃町河内地区とも集落の人口は5年前に比べ1割以上減少しています。

高齢化率については両集落とも町村の平均を大きく上回り、5割近くが65歳以上の高齢者です。

(2) 森林・林業情勢の変化

中勢森林組合は、県内では最初に市町村域を越えて広域合併し体質強化を図った森林組合で、平成6年には小径木加工にも取組など、積極的な活動を行っています。

平成15年には効率的な木材生産活動の取組を進めるため、高性能林業機械スイングヤーダを導入しました。

中勢森林組合では、平成12年度から16年度の5年間で12名の新規就業者を採用していますが、作業員数は平成12年度62名に対し平成16年度63名とほぼ横ばいです。

美里村、安濃町、芸濃町では、緊急地域雇用創出特別基金事業(緑の雇用事業)を活用し、間伐推進を図っています。

森林整備活動の中核を担う認定林業事業体が森林組合以外に3社あります。

平成13年6月に、これまでの木材生産を主体とした政策から、森林の持つ多様な機能を持続的に発揮させるための政策への転換を図るため、林業基本法が大きく改正され、森林・林業基本法として成立しました。

(3) 社会情勢

芸濃町、安濃町、美里村は、広域合併により、平成17年4月から津市になる予定です。

(4) 財政状況の変化

本県の厳しい財政状況によって林道事業予算が減少しており、進捗が伸び悩んでいます。

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向

4-1 費用対効果分析

林野公共事業の費用対効果分析は平成12年度から導入されたため、事業採択時及び前回再評価時は費用対効果分析を行っていません。

4-2 地元の意向

(1) 受益者

森林の荒廃が進む中、適正な森林管理を実施するため、また地域の観光資源の活用を行うことにより産業の活性化、地域活性化に資することから、早期の完成を望んでいます。

(2) 芸濃町、安濃町、美里村

奥地森林資源を活用した林業振興や公益的機能発揮のための森林適正管理に重要な林道であるとともに、地域住民の生活改善、災害時の迂回路、観光資源の活用など山村地域の振興を図る上で不可欠な施設であることから、事業の積極的な推進と早期の完成を望んでいます。

<p>5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性</p> <p>平成12年度から路肩の縮減を行い、これまでの4年間で17百万円(従来に比べ10,135円/m)の縮減が可能となりました。</p> <p>平成14年度から補強土壁工を採用し、これまでの2年間の施工延長118mで20百万円(従来に比べ169千円/m)の縮減が可能となりました。</p>
<p>6 環境配慮</p> <p>(1) 間伐材等の利用 間伐材を利用した木柵工や丸太伏工など森林資源の有効活用を図りながら、通行の安全確保や周辺環境保全に必要な対策を講じています。</p> <p>また、工事で発生した支障木を仮設の木柵等に利用し、工事中の土砂の流下防止を図っています。</p> <p>林道事業では、本年度から、工事で発生する支障木の根株をチップ化して緑化工の基盤として利用する工法に積極的に取り組むこととしています。</p> <p>(2) 水質の汚濁防止 当路線の関係水域に簡易水道の取水箇所が1箇所あるため、盛土法面・法尻に木柵工・人工張芝伏工・土留工等を設置し、土砂の流出防止、水質の汚濁防止を図っています。</p> <p>(3) 景観配慮 景観に影響を与えるような地形の改変を最小限にするとともに、早期の緑化等により景観配慮に努めています。</p> <p>(4) その他 平成15年度から掘削機械については排出ガス対策型を使用しています。</p>
<p>7 費用対効果分析</p> <p>B(便益) = 4,112,279 千円 C(費用) = 3,285,670 千円 B/C = 1.25</p>
<p>8 林道の効果</p> <p>林業生産コストの低減や、労働条件の改善により、経ヶ峰山麓に広がる豊富な森林資源を活かした林業の活性化を図ることができます。</p> <p>水源涵養機能や土砂流出防止機能などの公益的機能を発揮させるための森林の適正管理を効率的に推進することができます。</p> <p>都市部から近いことから、森林体験学習のフィールドや、経ヶ峰山頂、錫杖湖畔の観光資源や森林資源を活かした集客交流産業の活性化を図る基盤として、期待されています。</p> <p>美里村大字平木地区、芸濃町河内地区は主要道路が少なく、主要道路被災時の迂回路となります。</p> <p>市町村合併により同一市となる美里村平木と芸濃町河内集落を結ぶ道路として、両集落間の連携や住民の絆を深める上で重要な役割を果たすことが期待されます。</p>
<p style="text-align: center;">再 評 価 の 経 緯</p> <p>平成11年度再評価審査委員会において、環境に配慮した林道計画について検討すること、との意見をいただき、環境配慮に努めながら林道事業を実施しています。</p>
<p style="text-align: center;">事 業 主 体 の 対 応 方 針</p> <p>三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため、コスト縮減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し、事業を継続したい。</p>